



臨床腫瘍セミナー

～ 肺がん検診は有効か？ ～

日時：平成22年11月16日(火)18時～19時

場所：福島県立医科大学 第二臨床講義室

演題：「肺がん検診について
—単純X線写真からマルチスライスCT—」

講師：栃木県立がんセンター
呼吸器科部長 森 清志 先生

＜演者紹介＞

宮崎県都城市出身。1980年北里大学医学部卒業。北里大学病院内科入局。その後国立がんセンターを経て、現在の栃木県立がんセンター勤務。その間、カリフォルニア大学サンフランシスコ病院に留学。2008年から呼吸器内科部長。北米放射線学会で2回受賞、日本肺癌学会賞。著書は“みずから招く病 肺がんパート1、パート2、パート3”、“胸部X線写真の判読手順と異常の見つけ方”等。

＜講演内容＞

「日本における肺癌の死亡者数は年々増加しており、肺癌はがん死亡原因の第一位です。肺癌死亡率を低減するために、一次予防としての禁煙対策とがんを早期発見し、治癒可能な肺癌発見を目指す二次予防としての検診があります。肺癌検診で広く一般的に行われているのが、胸部単純写真と喀痰細胞診です。胸部単純写真の代わりに低線量CTを用いることもあります。喫煙率低下による肺癌死亡数の減少は明らかですが、肺癌検診の有用性についてはいろいろな意見があります。肺癌の一次予防・二次予防について、現状と今後の展望についてお話ししたいと考えております。」

- ◆がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成プラン」事業の一環となっております。
- ◆本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目（規定の8）に該当します。

＜問い合わせ先＞

福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター
がんプロフェッショナル養成支援室
TEL：547-1410（内2661）
mail：mk3765@fmu.ac.jp



＜次回のお知らせ＞

日時：平成22年12月14日(火)18時～19時
講師：国立がん研究センター がん情報・統計部
院内がん登録室長 西本 寛先生
内容：「院内がん登録について」